

地区研修・協議会を終えて

地区研修・協議会
実行委員長

稲畑 勝太郎

(大阪RC)

2015～16年度の実質的なスタートを飾る地区研修・協議会が、去る4月11日に国際会議場において開催されました。ラビンドラン次年度RI会長の「世界へのプレゼントになろう」というテーマにどのようなメッセージが込められているのか、またそのメッセージが地区の方針にどのようにつながるのかを理解する上で貴重な機会になりました。

第一部の前半では、立野ガバナーエレクトが、ラビンドランRI会長エレクトのメッセージ、即ち、ロータリーが本来あるべき姿に立ち返るべきであり、単純な会員増強よりも人材の多様さと質を併せ持つクラブを目指すべきであること、そしてそのようなクラブや自分自身がGIFT（プレゼント）となって世界の様々な困難と向き合い、変化を起こそうと呼び掛けていることについて、詳しく説明されました。

そして、それを受けての2660地区次年度方針として「ポリオの撲滅」「会員増強：活力あるクラブをつくろう」「ロータリー財団：活力の維持」「戦略計画委員会：クラブは中長期の視点を持つ」「地区改革

「人材の育成」「ITの活用」の7本の柱を明瞭に示されました。続いて、高島PG・宮里氏、栗原氏から「戦略計画」「ポリオ撲滅・ロータリー財団」「IT活用」について掘り下げた解説をして頂きました。

第一部の後半は「ラビンドランRI会長のひととなりとその方針—RIを身近に」と題して、RI本部での活動経験をお持ちの井上PG・横山PG・岡部PGにご登壇頂き、樋口次年度地区代表幹事の司会のもと座談会形式で進められました。はじめにラビンドランRI会長エレクトのスピーチ映像が音声吹き替え付きで流され、その強烈な印象が冷めやらぬうちに、パネリストからスピーチに込められたメッセージを解き明かすという趣向で、フロアからご発言頂いた近藤PGのお話も含め、参加者にとってRIを身近に感じられるきっかけになったのではないかと思います。

最後になりますが、泉ガバナーはじめ、ご参加下さいましたパストガバナーの皆様、すべてのロータリアンの皆様のご協力に心から感謝を申し上げます。有難うございました。

